

明海大学 不動産学部

不動産の不思議

学生たちの視点と発見

第191回

的だ。壁面が白で統一されている」といって、道路側が連続的な植栽帯となっていて、白と緑のコントラストが落ち着きのある上品な雰囲気を醸し出している。

【学生の目】
電車を降り、改札を抜けると、眼前に広がるツインのタワーマンションが印象的な新浦安駅。駅前広場を通り、県道276号線を渡ると、駅前の超高層マンションとは対象的な低層住宅地が広がっている。その中で特に目を引くのが入船北エステートだ。

駅近の低層集合住宅



齋島 三弥

不動産学部1年

この団地は低層の集合住宅地で、2階建てのテラスハウスや3階建てのメゾネットタイプなど、様々なタイプの建物で構成され、地中海地域をほうふつさせる造りの住棟が印象的だ。駅に近く場所にある上品な低層住宅だが、一つ不安を感じるのは、駐車場の位置である。道路側の住棟では、道路から駐車場が見えないようにならねばならない。さらにその将来、集合駐車場が設置されている。駐車場があると、出入り口が植栽帯の連続性を失わせる、床仕上げのアスフ

て建物を最高の状態で維持し続けることも大切なことである。駅に近い場所にある上品な低層住宅だが、一つ不安を感じるのは、駐車場に近い場所にある上品な低層住宅だ。駅に近い場所にある上品な低層住宅だが、一つ不安を感じるのは、駐車場の位置である。道路側の住棟では、道路から駐車場が見えないように団地内通路を作り、住宅の後ろに集合駐車場が設置されている。駐車場があると、出入り口が植栽帯の連続性を失わせる、床仕上げのアスフ

人生最大の買い物は住宅だが、その次に大きな買い物はどうかといふと、数の人は車と答えるだろう。高価な

買い物である車を人々の死角に置くことにはいささか不安を感じるし、利便性も低下する。将来家庭を持つた場合の子供たちについても考えなければならない。さらにその将来、親の介護が必要になった場合を考えればならない。すると近さや便利さも重要な要素となる。

【教員のコメント】

昭和50年代の接地型低層集合住宅の住環境が熟成している。創意に満ちたランドスケープと低層ゆえの贅沢さが一体化した空間は秀逸だ。超高層への建替え圧力が強いが、歴史的な佇まいを維持して稀少性を保てば、レガシーになる日も来よう。



築後36年とは思えない上品な雰囲気を維持している入船北エステート